

絶大な人気を誇る
バンドネオン奏者三浦一馬が
クラシック界を担うメンバーと
豪華サウンドで奏でる極上の70分。

三浦一馬

バンドネオンシネマ 2025

— チャールズ・チャップリン特集 —

PROGRAM A *13:00 開演

映画「ゴッドファーザー」 愛のテーマ／ニーノ・ロータ
映画「太陽がいっぱい」 太陽がいっぱい／ニーノ・ロータ
映画「道」 La Starada／ニーノ・ロータ
映画「モダン・タイムス」 Smile／チャールズ・チャップリン
映画「ライムライト」 テリーのテーマ／チャールズ・チャップリン
映画「街の灯り」 花売りの娘／ホセ・ボディラ

PROGRAM B *16:00 開演

映画「ミッション」 ガブリエルのオーボエ／エンニオ・モリコーネ
映画「ニュー・シネマ・パラダイス」 ニュー・シネマ・パラダイス／エンニオ・モリコーネ
映画「ひまわり」 ひまわり／ヘンリー・マンシーニ
映画「モダン・タイムス」 Smile／チャールズ・チャップリン
映画「ライムライト」 テリーのテーマ／チャールズ・チャップリン
映画「街の灯り」 花売りの娘／ホセ・ボディラ



ヴァイオリン
西江 辰郎



ヴァイオリン
ビルマン 聡平



ヴィオラ
生野 正樹



チェロ
西谷 牧人



コントラバス
高橋 洋太



ピアノ
山田 武彦

2025. **8.10** [日]

ProgramA 13:00 開演 *12:30 開場

ProgramB 16:00 開演 *15:30 開場

浜離宮朝日ホール

全席指定 5,000 円 (税込)

※未就学児入場不可。託児サービスをご利用ください。イベント託児・マザーズ(要予約)0120-788-222
※車椅子席をご希望のお客様は、必ず公演の2営業日前までに MITT TICKETにてお電話でご購入いただきますようお願い申し上げます。お連れ様がご鑑賞される場合もチケットは必要です。<連絡先>MITT TEL:03-6265-3201(平日12:00~17:00)

- ◆ローソンチケット <https://l-tike.com/miura-bandoneon2025/> ※PC/スマートフォン共通 (Lコード:33383)
ローソン・ミニストップ店内端末「Loppi」にて一般発売日以降直接購入可
- ◆チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/miura-bandoneon2025/> ※PC/スマートフォン共通 (Pコード:298-607)
セブン・イレブン店内端末マルチコピー機にて一般発売日以降直接購入可能
- ◆イープラス <https://eplus.jp/miura-bandoneon2025/> ※PC/スマートフォン共通
ファミリーマート店内端末にて一般発売日以降直接購入可能
- ◆朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990(オペレーター対応 日・夜除く 10:00~18:00)
<https://www.asahi-hall.jp/hamarikyuu/>
- ◆MITT TICKET 03-6265-3201(平日12:00~17:00)

主催：朝日新聞社/浜離宮朝日ホール/合同会社 Moon 問い合わせ先：MITT 03-6265-3201 (平日12:00~17:00)

三浦一馬 バンドネオンシネマ 2025 - チャールズ・チャップリン特集 -

KAZUMA MIURA BANDONEON CINEMA 2025

— CHARLES CHAPLIN FEATURE —

三浦 一馬 Kazuma Miura, Bandoneon



10歳よりバンドネオンを始める。2006年に別府アルグッチ音楽祭にてバンドネオンの世界的権威ネストル・マルコーニと出会い、その後自作CDの売上で渡航費を捻出してアルゼンチンに渡り、現在に至るまで師事。2008年10月、イタリアのカステルフィダルドで開催された第33回国際ピアソラ・コンクールで日本人初、史上最年少で準優勝を果たす。

2011年5月には別府アルグッチ音楽祭に出演し、マルタ・アルゲリッチやユーリー・バシュメットら世界的名手と共演し、大きな話題と絶賛を呼んだ。

2014年度出光音楽賞受賞。既成の概念にとらわれない意欲的な取り組みや、バンドネオンの可能性を追求する真摯かつ精力的な活動ぶりが2010年9月NHK「トップランナー」に取り上げられる。2016年はデビュー10周年を迎え、7月には大阪フィルハーモニー交響楽団第500回定期演奏会でパカロフの「ミサ・タンゴ」のソリストに抜擢され好評を博す。

2017年、ドイツにてドグマ・チェンバー・オーケストラとマルコーニ作曲の「カーメラタンゴス」で共演。また自らが率いる室内オーケストラ「東京グランド・ソリスト」を新たに結成し、さらなる活動の場を広げている。

2021年、ピアソラ生誕100年に合わせて、東京グランド・ソリストとしての初音源「ブエノスアイレス午前零時」をリリース。同時にピアソライヤーを記念した全国ツアー公演の開催。2022年12月にピアソライヤーの最後飾る新譜「三浦一馬五重奏団『ピアソラ スタンダード & ビヨンド』」を発売。また、NHK大河ドラマ「青天を衝け」の大河紀行音楽演奏を担当するなど若手実力派バンドネオン奏者として各方面から注目されている。

使用楽器は、恩師ネストル・マルコーニより譲り受けた銘器、Alfred Arnold。

生野 正樹 Masaki Shono, Viola



1978年大分県出身。14歳よりヴィオラを始め、大分県立芸術緑丘高校を経て、洗足学園音楽大学を首席で卒業。同大学大学院修了。内田博、岡田伸夫の各氏に師事。ザルツブルク・モーツァルト国際室内楽コンクールにて第2位入賞。日本演奏連盟のオーディションに合格。九州交響楽団と共演。ソロアルバムを三枚、四枚組BOXCD「ノスタルジック・メロディーズ」をWanar Music Japanより発売。

これまでに東京フィル、東京シティフィル、神奈川フィル、広島交響楽団、山形交響楽団、大阪フィル、仙台フィルなど全国の主要

オーケストラに客演首席として参加。2016年は活動を一時休止しドイツへ留学。

2019年天皇陛下即位祝賀式典オーケストラにてソロヴィオラ奏者を務めた。現在はオーケストラへの客演を中心に室内楽、ソロ活動、また、葉加瀬太郎ツアーや様々なジャンルのレコーディングに参加。石田組、トリオAXIS、第21弦楽四重奏団、東京グランドソリストメンバー、RENTARO室内オーケストラ九州ソロ首席奏者。

高橋 洋太 Yota Takahashi, Contrabass



桐朋学園大学卒業後、2006年に同研究科修了。同時に東京都交響楽団に入団。2005年青森市民文化顕彰受賞2007年東京・青森にてデビューリサイタルを開催し絶賛を博す。2016年、デビュー10周年のリサイタルでは「楽器に対して非常に慎重に、そして楽譜に対して謙虚に対峙する」(音楽の友2016年12月号)と評された。これまで、セイジ・オザワ松本フェスティバル、東京・春・音楽祭、霧島国際音楽祭、アフィニス夏の音楽祭はじめ、各地の音楽祭に度々出演している。現在、東京都交響楽団奏者として活動するほか、ジョン・ミョンフン指揮アジア・

フィルハーモニー管弦楽団や各地のオーケストラに首席奏者として招かれている。また、バンドネオンの三浦一馬氏率いる五重奏団他、東京グランド・ソリスト、久石譲氏プロデュース、FutureOrchestraClassics、MusicFutureなどにおいて、メンバー及びソリストとしての演奏を始め、雑誌「Tarzan」にて、音楽家としての身体のメンテナンスを紹介するなど、その活動は多岐に渡る。

2022年3月にはコントラバスでは初録音となるピアソラ作曲の「タンゴの歴史」を収録した自身初のアルバムをリリースする。

西江 辰郎 Tatsuo Nishie, Violin



新日本フィルハーモニー交響楽団コンサートマスター及び、久石譲Future Bandバンドマスター。幼少期より辰巳明子氏に師事し、桐朋学園ソリストデューロコース修了。スイスに留学しティボール・ヴァルガ氏に師事。メソッドを継承する。室内楽を安永徹、市野あゆみ各氏に師事。2001年、仙台フィルのコンサートマスターに抜擢されSPC大賞、セレーノ弦楽四重奏団にて緑の風音楽賞、松尾音楽助成などを受賞。05年より新日本フィルコンサートマスターに就任し、ソリストとしてもクリスティアン・アルミンク、ギンター・ビヒラー、外山雄三、ダグラス・ボストーク、佐渡裕らの指揮のもと国内外のオーケストラと共演。ミッシャ・マイスキー、ジュゼッペ・アンダローロらとの室内楽や各地の音楽祭にも招かれている。マレーシア・フィルやNHK交響楽団にゲスト・コンサートマスターとして出演。16年「題名のない音楽会」にピアノの上原ひろみとゲスト出演。6弦エレクトリック・ヴァイオリンにて久石譲の「室内交響曲」のソリストを務め、世界初演。20年、21年にはHiromi Piano Quintetのメンバーとしてブルーノート東京にて「Save Live Music Returns」に出演。Fuji Rock Festivalへの出演や全国ツアーを行った。ディスコグラフィも多く、いずれも好評を得ている。

ビルマン聡平 Sohei Birmann, Violin



兵庫県神戸市出身。東京藝術大学音楽学部を経て、スイス・ローザンヌ高等音楽院卒業。同大学院修士課程修了。ローザンヌにおいて Sinfonietta de Lausanne のアカデミー課程修了。山本彰、工藤千博、澤和樹、清水高樹、ビエール・アモイアルの各氏に師事。8歳で京都音楽コンクール金賞奨励賞。全日本学生音楽コンクール(中学の部)第3位入賞。日本演奏家コンクール優勝。YBP 国際コンクール優勝。大阪国際コンクール第3位入賞。2016年入団。新日本フィル 首席第2ヴァイオリン奏者。

西谷 牧人 Makito Nishiya, Cello



奈良県出身。東京藝術大学及び大学院を修了後、米国インディアナ大学にて研鑽を積む。これまでに河野文昭、菊地知也、堤剛、ヤノシュ・シュタルケルの各氏に師事。2005年帰国し、佐渡裕氏率いる兵庫芸術文化センター管弦楽団に創設メンバーとして在籍(〜2008年)。大谷康子弦楽四重奏団、小松亮太タング楽団、霧島国際音楽祭、硬派弦楽アンサンブル「石田組」、東京グランドソリスト、テレビ朝日「題名のない音楽会」などに出演、多岐にわたる演奏活動を行なっている。2015年、自作自演弦楽ユニット「清水西谷」を結成、全曲オリジナル作品による「KODO」にてCDデビュー。2013年度青山音楽賞受賞。2008〜2016年東京藝術大学非常勤講師。2008〜2019年まで東京交響楽団首席チェロ奏者を務めた。現在はバハからジャズ、タンゴ、自作自演までジャンルを超えた演奏活動を展開している。2021年より愛知県立芸術大学非常勤講師も務めている。2022年6月、ソロアルバム「STORY」をリリース。

山田 武彦 Takchiko Yamada, Piano



東京藝術大学大学院作曲専攻修了。1993年フランス政府給費留学生としてパリ国立高等音楽院ピアノ伴奏科に入学。同クラスの7種類の卒業公開試験を、審査員の満場一致により首席で一等賞(ブルミエ・プリ)を得て卒業。フランスの演奏団体である2e2m、L'itineraire、Triton2等でソリストとして演奏し、現代音楽の紹介を務める。帰国後はピアニストとして数多くの演奏者と共演、的確でおおらかなアンサンブル、色彩豊かな音色などが好評を博し、コンサート、録音、放送等の際のソリストのパートナーとして厚い信頼を得る。東京藝術大学招聘教授を経て現

在同学音楽文化学所(ソルフェージュ分野主任)、洗足学園音楽大学客員教授。全日本ピアノ指導者協会正会員、日本ソルフェージュ研究協議会理事、日本ピアノ教育連盟会員。2017年より浅草オペラ100周年記念企画「あまの街浅草」にて音楽監督を務め、全曲の作・編曲を担当、浅草「東洋館」他にて上演を行う。